

国語科での活用

千歳市立向陽台中学校

中学校
第2学年

単元名 「きずなを読む」
教材名 「気持ちを込めて書こう」(光村図書「国語2」P116-120)
「思いやり」(「おもてなしハンドブック 中学校」P6-9)

1 単元のねらい

伝えたい内容を明確にし、自分の気持ちが効果的に伝わる表現や構成を工夫して手紙を書くことができる。

2 単元について

本単元は、手紙を書くことを通して「お礼の気持ちを伝える」「何かを依頼する」「近況を報告する」など、手紙には多様な用途があることと、どの場合においても、伝えたい事実や事柄を明確にして、手紙の構成を工夫することの大切さを理解させる単元である。

相手に気持ちを伝える際に大切なことについて考える導入の場面で、「おもてなしハンドブック」を活用することにより、気持ちが効果的に伝わる表現や構成を工夫することができるようにする。

3 本時の展開

過程	□主な活動 ・子どもの反応	◆指導上の留意点 ◇評価
導入	<ul style="list-style-type: none"> □ 「こんな時どうしますか？」(「おもてなしハンドブック」P7-9)について、自分の考えを記入する。 <ul style="list-style-type: none"> ・「どこかお探しですか」と声を掛ける。 ・声を掛けないほうがいい。 など □ 記入した内容をグループで交流し、思いやりのある行動について考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・何日も悩んでいるようなら、話を聞いた方がいい。 ・ひとりしてほしいと言っていたから、声を掛けると、余計な気持ちになるのではないか。 など □ 本時の課題 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 伝えたい内容を明確にし、気持ちが効果的に伝わる表現や構成を工夫しよう。 </div> 	<ul style="list-style-type: none"> ◆「何が正解か(どちらの立場が正しいか)」にとらわれず、素直な自分の考えを書き込むようにする。 ◇自分の考えを積極的に「おもてなしハンドブック」に書いているか。
展開	<ul style="list-style-type: none"> □ 具体的な場面を想定して、思いやりについて考える。 ・相手の立場に立って、何をすることが大切だと思う。 ・相手がして欲しいことを考えることが必要だと思う。 □ 手紙を書く際に大切にすることを考える。 ・相手の立場や状況を考えて、伝えることが大切。 ・自分の思いと相手の立場を大切にしたい。 	<p style="text-align: center;"><話し合いを進める生徒の様子></p> 

<ul style="list-style-type: none"> □ 相手と目的、内容を決める。 <ul style="list-style-type: none"> ・職場体験のときにお世話になった担当の方に感謝の気持ちを伝えたい。 ・しばらく会っていない祖母に、自分ががんばっていることを伝えたい。 など □ 手紙を出す相手や目的、どのようなことに気を付けるかについて、グループで交流する。 <ul style="list-style-type: none"> ・感想だけでなく、具体的なエピソードを書いた方がいい。 ・相手は忙しいから、あまり長くならないように気を付ける。 など □ 本時のまとめ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 自分が伝えたいことを明確にし、相手や目的に応じた言葉遣いや具体例を入れるなど、表現を工夫することが大切である。 </div> 	<ul style="list-style-type: none"> ◇自分の立場や伝えたい事実や事柄を明確にして、手紙を書こうとしている。(発言、記述内容)
<p>終末</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 次時に、気持ちを込めて手紙を書いて、交流することを伝える。 	

4 授業の記録

(1) 「おもてなしハンドブック」P8への記述

- ・以前、一人にしておいてと言われたから、そっとしておいた方がいい。
- ・今日も悩んでいるようだから、声を掛けたほうがいいと思う。
- ・余計な声を掛けたら、かえって相手の迷惑になると思う。

5 板書

「気持ちを込めて書こう」

「自分が伝えたいことを明確にし、相手や目的に応じた言葉遣いや具体例を入れるなど、表現を工夫することが大切である。」

手紙
相手の立場や状況を考えて、伝えることが大切

「相手の立場に立って、何をすることが大切だと思う。」
相手がして欲しいことを考えることが必要だと思う。

「それ以外の行動が違えば、思いやりがある」と言えるのはなぜですか？」

「きずなを読む」
「気持ちを込めて書こう」
伝えたい内容を明確にし、気持ちが効果的に伝わる表現や構成を工夫しよう。

「こんな時どうしますか？」

どのバスに乗
バスの来たら
教えてあげると
いい

「大丈夫」と声を掛ける

「どうしたの？」

「どこかおさがしてすか？」
何かお困りですか

<生徒の思考の流れに沿った板書>

実践のポイント

- 相手に気持ちを伝えるために大切なことを深く考えることができるよう、展開で「おもてなしハンドブック」を活用し、伝える内容を考える場面を位置付ける。
- 道徳的な判断力や心情を養う基盤となる言語感覚が豊かになるよう、「おもてなしハンドブック」への書き込みの内容を把握し、展開後半で意図的に指名する。

道徳の時間での活用

網走市立第一中学校

中学校
第2学年

主題名 相手の立場を考える 内容項目B〔思いやり、感謝〕
教材名 動画「Blind Devotion」（非営利団体 Jubilee Project 作成）
「思いやり」（「おもてなしハンドブック 中学校」P6-9）

1 本時のねらい

思いやりの心をもって人と接し、相手の立場に立って親切にしようとする心情を育てる。

2 教材について

本教材は、ある夫婦の妻が失明してしまう話であり、相手に迷惑をかける存在にならないように今までどおりの生活を望む妻に対して、夫としてどのように接していくことがよいかを考える教材である。

- ① 妻は家事と仕事を両立し完璧な妻であったが、失明することで仕事も家事もうまくいかなくなってしまう。
- ② 失明後も夫の手を借りずに家事や仕事を続ける様子が描かれる。
- ③ 妻が気付かないところで夫が妻を見守り、手を差し伸べていることがわかる。
- ④ 相手に迷惑をかける存在にならないように今までどおりの生活を望む妻に対して、夫としてどのように接していくことがよいか思い悩む。

「おもてなしハンドブック」を思いやりの心を伝える具体的な行動などについて考える場面で活用することにより、相手の立場を尊重することの大切さに気付くことができるようにする。

3 本時の展開

過程	○発問等 (◎中心的な発問) ・子どもの反応	◆指導上の留意点 ◇評価
導入	<ul style="list-style-type: none"> ○ あなたは思いやりとはどういうものだと思いますか。 ・ 相手を気遣うこと。 ・ ベストを尽くすこと。 ○ 「あなたならどのような行動をしますか。自分の考えを書きましょう。」（「おもてなしハンドブック」P9）にあなたが考える思いやりのある行動を書いてみましょう。 ・ バスに乗る手助けをする。 ・ バスが来るのを一緒に待っている。 	<p>◆指導上の留意点 ◇評価</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>「こんな時どうしますか？」③</p> <p>【何を思いやっていますか。目の不自由な方が盲導犬と一緒に歩いている様子を見ています。】</p> <p>盲導犬が目の不自由な方を導いてくれること 盲導犬が目の不自由な方を導いてくれること 盲導犬が目の不自由な方を導いてくれること 盲導犬が目の不自由な方を導いてくれること</p> <p>盲導犬が目の不自由な方を導いてくれること 盲導犬が目の不自由な方を導いてくれること 盲導犬が目の不自由な方を導いてくれること 盲導犬が目の不自由な方を導いてくれること</p> <p>盲導犬が目の不自由な方を導いてくれること 盲導犬が目の不自由な方を導いてくれること 盲導犬が目の不自由な方を導いてくれること 盲導犬が目の不自由な方を導いてくれること</p> </div> <p>○ あなたならどのような行動をしますか。自分の考えを書きましょう。</p>
展開前半	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料「Blind Devotion」の前半を見る。 ○ あなたが妻の失明を知った夫の立場だったらこれから妻とどのように生活していこうと思いますか。 ・ そっとしておく。 ・ できる限り妻の代わりにいろいろなことをしてあげる。 	<p>◆自分の意見をしっかりとつとめることができるよう、話の概要を確認する。</p>

<「おもてなしハンドブック」P9>

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料「Blind Devotion」の後半を見る。 ○ この映像の夫の行動を見て「思いやりがある」と思えますか。そう思う理由も考えてみましょう。 ・ そう思う →妻のことを考えて行動しているから。 ・ そう思わない →妻が知った時大変ショックを受けるから。 ◎ 改めて聞きます。あなたにとって「思いやり」とは何だと思いますか。 ・ 相手のことを考えたやさしさであること。 ・ みんなが笑顔になる行動。 	<p>◆考えを深めさせるよう、「彼女が夫の行動に気付いた時どう思うか」という補助発問を投げかける。</p>  <p style="text-align: center;"><授業の様子></p>
展開後半	<ul style="list-style-type: none"> ○ もう一度「あなたならどのような行動をしますか。自分の考えを書きましょう。」（「おもてなしハンドブック」P9）を考えてみましょう。 ・ 何かお手伝いすることがあるか聞いてみる。 ・ 挨拶をして話をしながらバスが来るのを一緒に待つ。 	<p>◇相手の立場に立った考え方をしている。（ワークシート）</p>
終末	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教師の説話を聞く。 ○ 感想を書く。 	

4 授業の記録

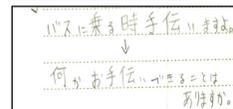
(1) 中心的な発問に対する子どもの反応

- ・ 自分のことより人のことを考えて行動すること。
- ・ 「自分がもし相手の立場なら…」と考えて行動すること。
- ・ 行動だけではなく、言葉をかけるなど気持ちを表すのもよいと思う。

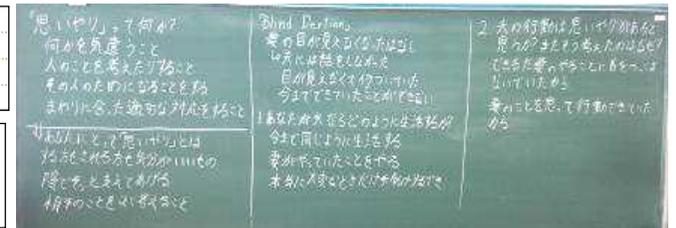
(2) 授業後の感想

- ・ 思いやりについて学ぶことができた。
- ・ 普段簡単に使っている言葉だけで簡単なものじゃない気がした。
- ・ 自分も相手もよい気持ちになるのが思いやりだと思う。

5 板書、ノート等



<「おもてなしハンドブック」への記述内容>



<思考の流れに沿った板書>

実践のポイント

- 思いやりについての考えを深めることができるよう、導入と展開後半で「おもてなしハンドブック」を活用し、日常生活における行動を考える場面を位置付ける。
- 相手の立場に立って親切にしようとする心情を育てる場面での考えの深まりを視覚的に捉えることができるように板書を工夫する